

水害対策調査特別委員会

令和2年5月14日(木)

午前9時00分～午後4時35分

現地視察：市内一円、委員間協議：議会第1会議室

【出席委員】重松 徹委員長、松永憲明副委員長、西岡真一委員、久米勝也委員、
川副龍之介委員、山口弘展委員、武藤恭博委員、千綿正明委員、
中野茂康委員、川崎直幸委員、池田正弘委員

【欠席委員】なし

【委員外議員】

【執行部出席者】川副農林水産部長
干潟建設部長
ほか、関係職員

【案 件】

・水害対策関連事業に関する諸種調査（現地視察）

◎現地視察（市内一円）

◎委員間協議

○重松委員長

今日はかなりタイトなスケジュールで、山から海までということで、また日に照らされて皆さん大変お疲れだと思います。担当部署からの説明を聞かれても質問する時間もあまりなかったと思いますので、委員間討議という形にしていますけれども、執行部に対して質問事項や意見がありましたら出していただいて、そして、それを取りまとめて執行部のほうに投げかけて、今後の委員会につなげていきたいと思っています。

○中野委員

きょう、朝一番に行った場所、富士町の富士線、杉山線の農道の崩落した後の完成した現場を見たわけですけど、当時の現状として道路の拡張工事をしたということで、地盤が柔らかかったかもしれないという説明がありまして、その中に雨がたまって道路からの水の重さで流れて崩落したと感じますので、谷側のほうにも、もともとの排水路があったと思うんですよ。その上のほうの柵が目詰まりした可能性もあるような感じもしましたので、今後は拡張した工事場所の排水路の点検ができないものかと思っています。

○西岡真一委員

北部ということで、砂防ダムは土木事務所によると9月ごろまで設計をやっているそうです。それで、これは要望になるんですけども、3軒被災して家を移らないといけないようになったんですけども、さらに後2軒ほど、上流のほうに危険な、特に1軒はすぐ川の際ということで、いつ何どき、また去年みたいな大雨が来ればやられるか分からないという

家が残っております。こういうところが何らか市から手を差し伸べてもらうことができないものかお尋ねしたい。

○川副委員

徳永排水機場で事前排水をして、空振りの場合は筑後川の水を受けるという話をされておりました。やはり事前排水というのは、去年の8月の豪雨に対しても非常に効果があると思いますので、やはり、全水路、農業関係の水路に関して、事前排水をする方向をどういうふうに持っていったほうがいいのか。水路関係の管理者あるいは農業者との話し合いをきちんとしていただきたいということを感じました。

もう一つは、今、50戸連たん等で土地の開発がされている中で、河川の整備はいいんですけど、やはりそれ以上に水田が減ってるということで、水持ちが悪くなってるのが現状かなと思います。したがって、河川整備と併せて遊水地関係の設置も考えていかなければいけないのかなと思います。

○千綿委員

川副委員と若干同じようなことになるんですが、実は、事前排水のポンプアップとかは、結構カ所数が増えてきているんですけども、結果的に市や県とか国が管轄してるところは事前排水について連携がとれています。樋門の管理を農家の方に委託してるところについては、特に水稻の時期に関して、いわゆる用水の確保を重点に思われてるところが結構多いんですね。さっき言われたように、仮に、用水が無くなっても、農業用水として水を確保できればいいと。樋門の管理をする人たちは、事前排水をして農業用水がなくなったときのことをやっぱり考えられるわけですね。ですから、そこをちゃんと手当てをして、樋門の管理をしていただく方たちが共通の認識、農業用水が足らなくなることはないっていうことがわかれば、多分事前排水に協力することところは多くなると思います。施設は何年かかけて整備していくしかないと思うので、あとは樋門の連携ですよね。そこを重点的にやっていって連携を強化していくのが多分必要だろうと思います。

○武藤委員

千綿委員、川副委員から言われた事前排水で、確かに小さい樋門あたりは特に農家の方々に歴代ずっとお願いしているところが多いと思います。現に諸富でも結構そういう形になっております。市の職員が担当してるところ、大きい水門とかポンプ場に対しては連携できておりますけれども、農家が担当している部分の連携といいますか、指導、お願いといいますか、その辺がやっぱり年に1回ぐらいは皆さん寄っていただいて、地区ごとにでも結構ですけど、こういう場合はこういうふうにとというような指導とお願いを合わせたところである程度周知を徹底してもらわないと、今の状態では連携がうまくできないのではないかと思います。

○池田委員

内水氾濫ということで、平成2年の水害を契機にポンプ場設置が進んで、機能もよくなっ

て、排水能力も上がって被害が少なくなってきた部分があるんですけども、ここ何年かは雨量が集中的に、想定を超える以上の雨量が出るということで、これ以上ポンプ場を増やすのも費用的にも難しいところも出てくるのではないかと思います。街なかの浸水を防ぐために、個々でできることが何かないのかなというふうな検討も必要ではないかと思います。例えば、家の中に水が入らないようにしきりとかができるようなものとか、そういったものを考えて、そこに補助金を出すとか、そういったことも考えられないかなというふうに思うし、ハード面をしっかりと整えるということも大事ですけども、それぞれの家庭でできることを何か考え出して、そこに費用を充てていくような方法も今後検討していただきたい。

これから山のほうもそうですけども、災害が毎年のように出てくると、費用面でかなり負担になってくると思いますし、コロナ対策もあって、なかなかハード面に費用をつけるというのは難しくなってくると思いますので、その辺の考えが必要かなと思います。

○山口委員

それぞれ排水機場を見て回った中で資料に書いてあった部分もあるんですけども、口頭説明しかなかった部分でそれぞれの施設の処理能力ですよね。それと年間通じての稼働時間、稼働日数、そのあたりをきちっと御説明をいただければなと思います。

それと、特に農業排水の管理の部分ですね。例えば、徳永幹線だったならば、このあたりの農業者に何名お願いしていますとかというのが、農村環境課の話の中でいくらかは聞こえてはきたんですけども、全ては分からなかったんですよ。ですから、管理の委託をしている部分っていうのが実際どうなっているのか、確認させていただければなと思っております。

○千綿委員

以前も私が言ったのは、要するに今市民の方たちの危機感、緊急避難が出て逃げないっていうのは、危険な状況が見えないから分からないんですね。ですから、例えば、水位がここまで上がっているっていうのが視覚で見えたら、これはちょっとやっぱりやばいなっていう住民の方が自分で判断できると思うんですよ。避難勧告にしてもそういうのが出ても、逃げない方、逃げなかった方が亡くなるところとかいろいろあるんで、そこはやっぱり、現状をネットでも見える化したほうが、住民の皆さんが自分で判断して逃げるっていうこともできるので。全部とは言いませんけど、今はネット社会なので、注意喚起の意味で市民にインターネット等で公開するようにしていくべきじゃないかなと思います。

○川崎委員

2点ありまして、1点目は、千綿委員やほかの委員も言われた農業用水の事前排水、この件は川副町の農家の方から、私に何とか市と農協関係と連携をとって事前排水をしてもらいたいとの強い要望がありますので、執行部に要望したいと思います。

あと1点は、国営総合農地防災事業で現地を見ましたが、あそこだけじゃないわけですよ。例えば、去年の8月の豪雨のような雨量が出たときに、川の半分に鉄板を打っている

が、排水量とか、どのような排水計画を立てているのか。これから、6月、7月、10月まで台風や大雨等々の豪雨で、その排水量等々をどういう風に計算しているのかなと思って、その点をお聞きしたいと思います。

○久米勝也委員

内水氾濫に対しては皆さん言われたとおりで、やっぱり事前排水をどうするかっていうことでうまく連携をするということで、同様なことでいいと思います。

もう一つ、山間部の農地農業用施設災害復旧事業の進捗状況がやっぱりまだまだで、平成30年度で36.5%の完了、令和元年度においては、まだ契約もゼロで完了もゼロということです。毎年雨が降ってくると、入札不調での工事の遅れとかあると思いますので、これはさんざん言われていますけど、やっぱり県外も含めて入札をして不調がないようにしないと、1年が2年遅れとなって農業ができないようなことになると思うので、その辺をお願いしたいと思っています。

○中野委員

これまで農家として一番心配していたのは、田植えが終わって水を張っている中で、事前排水をすればノリ落ちをするという危険性がものすごく多かったわけですね。クリーク防災事業をしたところはある程度事前排水ができます。ですから、国の事業であり予算も関係しますが、クリーク防災事業をなるべく早めに進めていただくということですね。それと事前排水をしたときに、雨が降らなかつたらどうするかっていう心配が農家とか土地改良の皆さんにあります。徳永線の場合は筑後川水系から水を持ってきますよ、心配ありませんという説明が今日ありましたが、普通のクリークで、その点、理解をどのようにしてもらおうかということですよ。農家としても、昔の人とはとにかく目の前に水がなかつたら心配していましたので。

○重松委員長

皆さんたちから上げられたその意見を執行部に上げて、今後の委員会につなげていきたいと思っております。

とにかく水害の軽減に備える対策として、いろんな意見を聞きながら、結びつけていきたい。それで最終的に委員会の調査報告に結びつけていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

きょうは本当にお疲れさまでした。

これで本日の経済産業委員会を終了いたします。